

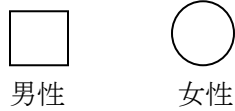
(別紙1)

ジェノグラムの作り方

- ジェノグラムとは、一般的に家系図のことである。
- 以下に、図式化するための表記法を挙げる。

1. 家族構造

(1) 性別



(2) 中心人物

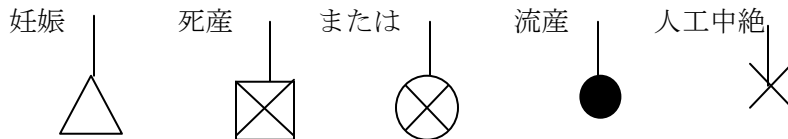


(3) 誕生年と没年

誕生年→43 : 62←没年

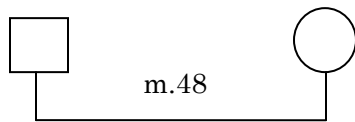


(4) 妊娠、流産、中絶、死産

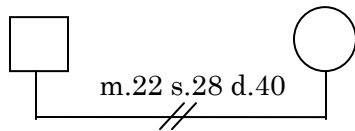


2. 婚姻関係等

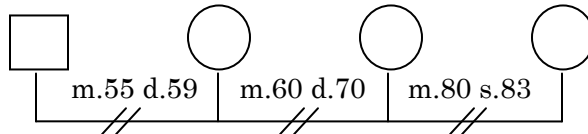
(1) 婚姻関係 (m=marriage : 結婚)



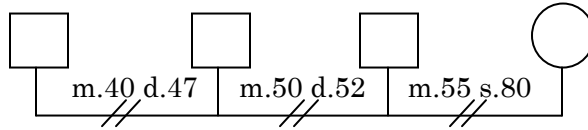
(2) 別居 (s=separation : 別居)、離婚 (d=divorce)



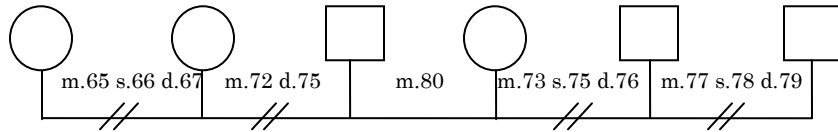
(3) 何度も結婚歴のある夫



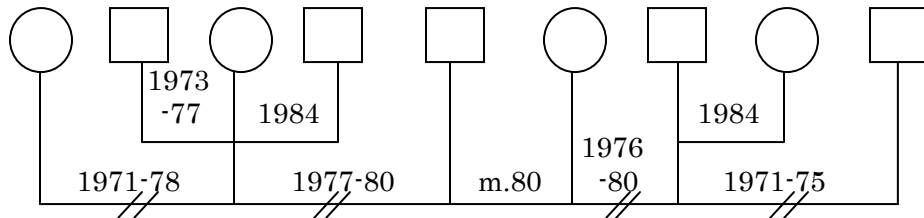
(4) 何度も結婚歴のある妻



(5) 共に結婚経験のある夫婦



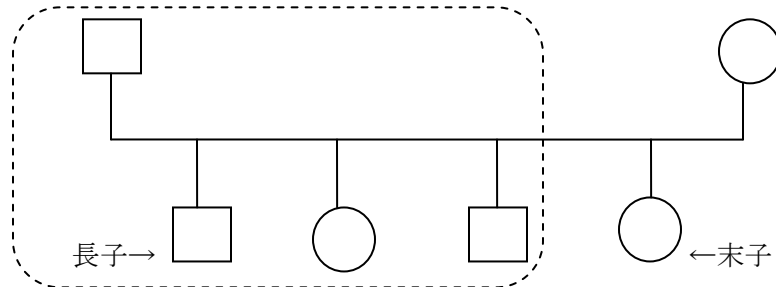
(6) 過去の結婚相手もそれぞれ再婚している夫婦



(7) 内縁関係



(8) 同胞（きょうだい）の出生順位



(9) 同居家族：点線で囲む

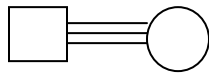
* 家族に関する情報を記載する

- ①年齢
- ②職業
- ③出身地
- ④結婚のいきさつ：見合い・恋愛・できちゃった婚 など
- ⑤別居の理由：夫の暴力・妻の浪費 など

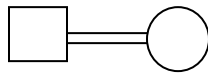
- ⑥離婚：離婚に至ったいきさつ・協議離婚・調停離婚（主な争点・申立人・親権をめぐっての対立かどうか） など
- ⑦転居
- ⑧収入・学歴：ローンの返済 など
- ⑨非行・犯罪歴：ケースによっては警察への前科紹介が重要である
- ⑩命日・死亡原因：事故死・自殺・病死（病名） など
- ⑪子の名付け：誰が名付け親なのか、命名に込められた期待などが重要である
- ⑫疾病の有無

3. 家族の関係性

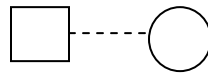
(1) 融合



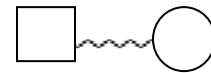
(2) 親密



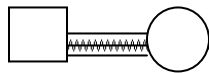
(3) 疎遠



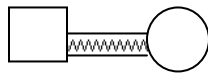
(4) 敵対



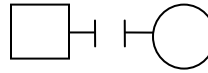
(5) 融合し敵対



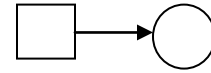
(6) 親密で敵対



(7) 遮断



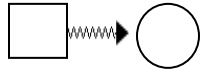
(8) 強い関心／干渉



(9) 性的虐待



(10) 身体的虐待



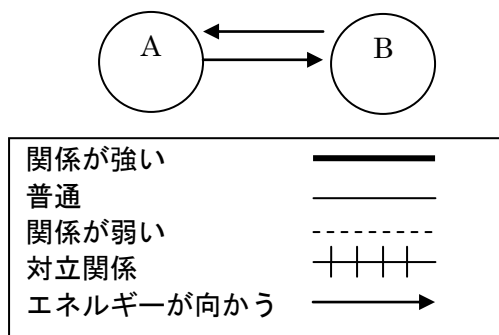
(別紙2)

対人関係マップの作り方

【参考】児童自立支援計画研究会編「子ども・家族への支援計画を立てるために」

- ・○(円)を子ども(本人)として、中心におく。○の大きさはこだわらない。
- ・その周りに、子どもに影響を与えている人について記入していく。
- ・子どもにとって、あまり影響のないものは記入しない。
- ・子どもが話す人が、養育者が把握している人と異なるときには、子どもの話を優先して記入する。

例1 [子ども(本人)をA、影響を与えている人をBとする]



- ・○において、どのように→が引かれるかについては、その関係が密かどうかによる。
- ・関係が強いほど線を太くする。
- ・対人関係マップは子どもを中心に、それぞれの人との関係性を理解するのが目的であり、定期的に作成することで対人関係の変化を把握することもできる。例1のようにお互いの矢印を引くことで、子どもとBは、お互いに意思疎通しているということを表す。

例2 対人マップ例

